

TOPICS



豊山にじいろ食堂

9月定例会

質疑あれこれ

お知らせ

一般質問

トピックス

追跡

豊山にじいろ食堂(子ども食堂)が2018年7月にスタートし、2年以上が経ちました。子ども食堂、子ども、スタッフへの想いやこれからについて、代表の伊藤章代さんにお話を伺いました。



Q 子ども食堂をやってみようと思ったきっかけは何ですか。

A 伊藤さん

当時は子どもの6人に1人が貧困と言われていましたが、周りにそんな人たちがいるのかと思っていました。実際に知ったことが大きかったです。

Q どのような貧困を感じますか。

A 伊藤さん

貧困＝物が食べられない、お金がない家庭というような固定概念があるけれども、文化的とか

つながりとか踏まえて貧困ですね。お母さん方も働いているので、どうしても地域から離れていきがちです。子どもも忙しいので、塾とか習い事になると、食べ物もできたてではなくて、コンビニとかで手軽なものに走ってしまいますね。

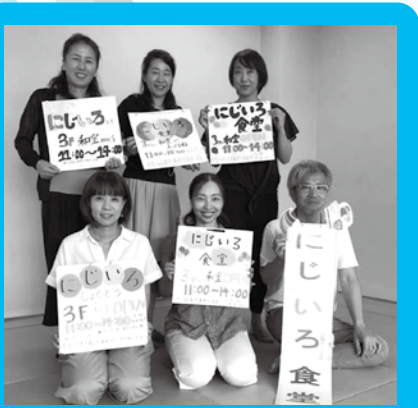
A 伊藤さん

子ども食堂をやってみたら、スタッフが小中学生、高校生、大学生とボランティアが揃ったことがあって、すごく嬉しかったです。大人も子どもも居場所になっています。

Q にじいろ食堂が目指しているものはなんですか。

A 伊藤さん

食堂に行ける子どもたちが少しでも地域とつながってほしいです。地域と子どもをつなぐ架け橋になるといいと思います。それは、にじいろ食堂という名前をつけた理由でもあります。



▲にじいろ食堂の立ち上げメンバー